

# 参考資料集

～ 和歌山銀行 ～

## 資本増強額

(億円)

	資本増強申請額			自力調達額			今回の資本増強を契機とした合計額
	優先株	劣後債	計	普通株	優先株	計	
和歌山銀行	-	120	120	-	29	29	149

和歌山銀行の劣後債は優先株への転換権付であり、平成14年4月1日から転換を請求し得る。

## 公的資金による資本増強額及び商品性一覧

	優先株			劣後債		
	資本増強額	配当利回り	転換開始時期	資本増強額	利率	年限
和歌山銀行	-	-	-	120億円	1.34%	永久
転換後	120億円	1.34%	15年5月1日	-	-	-

和歌山銀行の劣後債は優先株への転換権付であり、平成14年4月1日から転換を請求し得る。

(資料1)

## 業務純益等の推移

(億円)

	業務純益										総資産額 (平残ベース)	
	資金利益				経費							
	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	人件費		物件費		14/3月期 見込み	18/3月期 計画
和歌山銀行	26	42	95	104	68	61	41	33	24	26	4,195	4,385

(注) 業務純益は、一般貸倒引当金繰入前。

## 総資金利鞘・預貸金利鞘、経費率の推移

(%)

	総資金利鞘		預貸金利鞘		経費率					
							人件費率		物件費率	
	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画
和歌山銀行	0.60	0.92	1.05	1.41	1.70	1.51	1.01	0.80	0.61	0.64

## 自己資本比率(単体ベース)の推移

(%)

	14/3月期 見込み	15/3月期 計画	16/3月期 計画	17/3月期 計画	18/3月期 計画
和歌山銀行	6.66	8.62	8.94	9.31	9.94

(注) 14年3月期の自己資本比率計算上は、公的資金120億円は無担保転換社債(劣後特約付)であるため、Tier 1 に算入されるが、Tier 1 上限の枠があるため、自己資本比率向上には大きく寄与しない形になっている。15年3月期においては、優先株に転換される見込みであるため、Tier 1 に算入される。

## (参考)自己資本比率(連結ベース)の推移

(%)

	14/3月期 見込み	15/3月期 計画	16/3月期 計画	17/3月期 計画	18/3月期 計画
和歌山銀行	6.95	8.74	9.05	9.42	10.05

# リストの状況

## 1. 役員数、従業員数等

(人、百万円)

	役員数		従業員数		人件費		物件費 (機械化費用を除く)	
	14/3月末 見込み	18/3月末 計画	14/3月末 見込み	18/3月末 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画
和歌山銀行	10	8	630	544	4,100	3,300	1,886	1,735

(注) 従業員数については、事務職員、庶務職員合算。在籍出向者を含む。嘱託、パート、派遣社員は除く。

## 2. 役員報酬・賞与等

	役員報酬・賞与 (単位:百万円)						平均役員退職慰労金		平均職員給与月額	
			うち役員報酬		うち役員賞与		(単位:百万円)		(単位:千円)	
	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画	14/3月期 見込み	18/3月期 計画
和歌山銀行	99	76	97	76	2	-	-	25	330	295

(注) 使用人兼務の場合、使用人部分を含む。

## 国内店舗数の推移

(ヶ店)

	14/3月末 見込み	18/3月末 計画	増減数
和歌山銀行	38	33	5

(注) 出張所、代理店、インスタプランチ、払込専門店、共同利用ATM管理専門支店を除く。

## 信用供与の状況 (実勢ベース)

(億円)

	国内貸出					
	14/3月末(A) 見込み	15/3月末(B) 計画	(B) - (A)	中小企業向け貸出		
				14/3月末(C) 見込み	15/3月末(D) 計画	(D) - (C)
和歌山銀行	3,281	3,310	29	2,113	2,133	20